

# 熊本地震に学ぶ 災害時の要配慮者の居場所づくりとは？

～誰もが被災者 暮らしを支える支援を考える～

2017

ゲストは、熊本県西原村より

3/7 (火)

NHKバリバラにも出演！

上村 加代子さん



13:30-16:30

前半 講演 / 後半 グループディスカッション

会場 ゆうあいセンター大会議室  
(岡山市北区南方 2-13-1 きらめきプラザ 2 階)  
参加費 無料 定員 50 名

特定非営利活動法人にしはらたんぼぼハウス施設長

就労継続支援 B 型 / 地域活動支援センター

1957 年生まれ。西原村社会福祉協議会で会計及び障がい者福祉の部門で勤務する。16 年間勤務後、NPO 法人にしはらたんぼぼハウスを立ち上げ施設長として現在に至る。社協で培った人脈を通して、地域の子供たちや住民を応援団と位置づけ作業所と地域のパイプ役として活動している。

## ◆コーディネーター

岡山大学地域総合研究センター 前田 芳男さん 山田 一隆さん

震度 7 の揺れが襲った熊本地震。その被災自治体の一つ、人口 6,000 人の西原村では、避難所は閉鎖したもの、今なお、約 1,200 名以上が仮設住宅での生活を余儀なくされています。村唯一の福祉作業所である「たんぼぼハウス」では、地震発生後、物資や炊き出しの拠点、さらには障害当事者の避難場所となっていたため、作業再開どころではない状況でした。たんぼぼハウスでは、ほとんどのスタッフの自宅が全壊。行政からの「訓練等給付費」が閉所期間中は、支払われないなどの窮状のなか、自分たちの力で少しでも収入を得ようと、名物の特製ラーメンを再開。利用者や地域の人たちを巻き込んで進めている、復興に向けての取り組みについて、実際に西原村に学生を連れてボランティア活動に行った岡山大学の前田先生、山田先生をコーディネーターにお迎えして、お話をさせていただきます。

**申込** 件名を「平成28年度 岡山県災害ボランティア研修会 参加申込み」として、氏名、所属、連絡先 TEL、県災害ボランティアコーディネーターへの登録の有無 をご記入のうえ、3月6日(月)までに [chiiki@fukushiokayama.or.jp](mailto:chiiki@fukushiokayama.or.jp) までお送りください。

## 問い合わせ先：

社会福祉法人岡山県社会福祉協議会 地域福祉部 (担当：西村)

〒700-0807 岡山市北区南方2-13-1きらめきプラザ3階 TEL：086-226-2835 FAX：086-225-6602

MAIL：[chiiki@fukushiokayama.or.jp](mailto:chiiki@fukushiokayama.or.jp)

\*「参加申込書」に記載された個人情報は、運営管理の目的のみに利用させていただきます。